

令5 中学校・高等学校国語（8枚のうち1）

（解答はすべて、解答题用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。）

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（本文には一部表記を改めたところ及び省略したところがある。）

著作権保護の観点から、本文を掲載いたしません。

令5 中学校・高等学校国語（8枚のうち3）

（解答はすべて、解答题用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。）

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（本文には一部表記を改めたところ及び省略したところがある。）

著作権保護の観点から、本文を掲載いたしません。

令5 中学校・高等学校国語（8枚のうち4）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。）

著作権保護の観点から、本文を掲載いたしません。

（砥上裕将『7・5グラムの奇跡』）

- 問一 傍線部③、⑤、⑥、⑧、⑩の漢字は平仮名に、片仮名は漢字に書き改めなさい。
- 問二 空欄②に入ることばを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア 冷たく イ 荒々しく ウ 厳しく エ なおざりに オ 控えめに
- 問三 傍線部①の「玉置さん」の様子として最も適切なものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア 自分が失明するかもしれないという事実を受け止め切れず、北見先生の診断が間違いなのではないかと抗議しようとしている。
- イ 自覚していた以上に自分の目の状態が悪いという事実を理解し、北見先生の提示した治療を受け入れるしかないと覚悟している。
- ウ 失明という言葉をそれほど深刻には受け止めることができず、北見先生たちが自分に同情していることに違和感を覚えている。
- エ 自分のカラーコンタクトへの依存が失明という事態を招いたことを自省しつつも、北見先生の配慮のない言葉に不満を感じている。
- オ カラーコンタクトの使用を一時的にでも禁止されたことに驚き、北見先生の冷静な治療方針の説明にも動揺を抑えきれずにいる。
- 問四 傍線部④の「北見先生」の心情として最も適切なものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア カラーコンタクトにこだわる玉置さんに苛立ちながらも、彼女の心にあるわだかまりを察してその思いを聞き出そうとしている。
- イ 目を大切にしない玉置さんに怒りをおぼえているが、医者として理性的に接しなければいけないと思いい感情を押し殺している。
- ウ 自らが提示した治療方針に反抗的な態度をとる玉置さんを煩わしく思ったが、周囲の目もあるので冷静を装おうとしている。
- エ カラーコンタクトの使用を認めることはできないが、玉置さんの返答によっては治療方法の変更を検討したいと思っている。
- オ 医者として患者が納得できる最善の治療を行いたいという思いから、玉置さんの思いを聞き出して説得の糸口を探ろうとしている。
- 問五 傍線部⑦のように「僕」が考えた理由を、「目の治療」「カラーコンタクト」ということばを使って、六十字以内で書きなさい。
- 問六 傍線部⑨の「丘本さん」の心情として最も適切なものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア ありのままの自分で周囲に向き合えない玉置さんを受け入れているが、北見先生に対する彼女の態度は納得できないと思っている。
- イ 心の傷に囚われて玉置さんが失明することは友達として看過できず、北見先生には彼女を見捨てず治療をしてほしいと思っている。
- ウ カラーコンタクトに依存する玉置さんの苦しみは理解し難いが、後悔しないように自分の気持ちは伝えておきたいと思っている。
- エ このままだと玉置さんは光を失うことを選択するのではないかと思いい、北見先生の説得で彼女を改心させてほしいと思っている。
- オ 玉置さんにとって友達言葉よりもカラーコンタクトの方が大切であると知っても、友人としてできることはしたいと思っている。
- 問七 傍線部⑩の「僕」の様子として最も適切なものを、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア 眼科医として患者を治療するという使命を全うするべく、時には患者の心の問題にも踏み込んで根本的な治療方法を探ろうとする北見先生を見て、人と理解し合うとはその人の心と身体全てを受け入れることだと身にしみて思っている。
- イ 患者との間に到底理解することはできないと思う考え方の隔たりがあったとしても、一人の人間として相手を理解しようとする北見先生の真摯な態度に触れ、自分たちは医療人である前に一人の人間であることに改めて思い至っている。
- ウ 患者を救うためには、眼科医の範疇を超えた問題にも向き合い、懸命に自分のことばを患者に届けようとする北見先生の姿に触れ、人と人とが相互理解に至ることの難しさと、それでもなおわかり合うことを目指す大切さを噛みしめている。
- エ 素直に人と向き合うことができないからといってカラーコンタクトに救いを求めた玉置さんの安易な行動を、北見先生や丘本さんが真剣に改めさせようとする様子を見て、優しさだけでは人を救うことができないと思いい自らの行動も戒めている。
- オ 自分のことを理解してくれない周囲の人々に反発していた玉置さんが、ことばを尽くして忠告してくれる人たちに心を開きその思いを受け入れていく姿に触れ、玉置さんの心の闇は決して治すことができないと決め付けていた自分を恥じている。

令5 中学校・高等学校国語（8枚のうち5）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。）

三 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

わがたのもしき人、陸奥^{みちのくに}国へ出で立ちぬ。時はいとあはれなるほどなり。人はまだ見なるといふべきほどにもあらず、見ゆることにはたださしぐめる^{※1}にのみあり。いとこころほそかなしきこと、ものに似ず。見る人もいとあはれに忘るまじきさまにのみ語らふれど、人のこころは^②それにしたがふべきかと思へば、ただひとへにかなしう心ほそきことをのみ思ふ。いまはとてみな出で立つ日になりて、ゆく人もせきあへぬまであり、とまる人、はたまいていふかたなくかなしきに、「時たがひぬる」といふまでも、^③え出でやらす。又、こなる硯に文をおし巻きてうち入れて、又ほろほろとうち泣きて出でぬ。しばしは見^④A 心もなし。見出ではてぬるに、ためらひて、寄りてなにごとぞと見れば、

きみをのみたのむた^⑤びなるころにはゆくすゑとほくおもほゆるかな

とぞある。見るべき人見よとなめりとさへ思ふに、^④いみじうかなしうて、ありつるやうにおきて、とばかりあるほどにもものしためり。目も見あはず思ひ入りてあれば、「などか。世のつねのことにこそあれ。いとかうしもあるは、^⑤われを頼まぬなめり」などもあへしらひ、硯なる文を見つけて、「あはれ」といひて、門出の所に、

われをのみたのむといへばゆくすゑのまつのちぎりもきてこそはみ^⑥B
となん。かくて日のふるままに旅の空を思ひやるこち、いとあはれなるに、人の心もいとたのもしげには見えずなんありける。

（『蜻蛉日記』）

（注）※1 わがたのもしき人——作者の父親 ※2 人——作者の夫（藤原兼家） ※3 さしぐめる——涙がわいてくる

問一 空欄A・Bに入る助動詞「む」を、それぞれ適切な形に活用させて書きなさい。

問二 波線部「たび」は掛詞である。この掛詞を説明した次の文の空欄X・Yに入る適切なことばを、それぞれ漢字一字で書きなさい。
「たび」に^⑦Xと^⑧Yの意味を持たせて、心情を豊かに表現している。

問三 傍線部①の作者の心情として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 頼みにしていた父が京から離れることに加え、夫とも慣れ親しんだ仲とは言えないので、自らの行く末に不安を感じている。

イ 心強い味方であった父が陸奥国へ旅立つことで、夫が再び自分に冷たくなるのではないかと、今後の夫婦仲を心配している。

ウ 信頼する父が陸奥国へ赴任することになり、身分の低い夫にこれからの生活を任せなければならないことを、心細く思っている。

エ 庇護者であった父が京から旅立つことで、自分の好みではない夫と一緒に暮らさなければならぬことを、悲しく思っている。

問四 傍線部②「それ」は何を指すか。適切なことばを、本文中から十五字以内で抜き出して書きなさい。

問五 傍線部③を主語を補って現代語訳しなさい。

問六 傍線部④の作者の様子として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 多くの人に慕われていたにもかかわらず、都から左遷される父の悔しい気持ちを慮っている。

イ 夫に娘のことをくれぐれも頼むと言い残して旅立つ父の姿から、自分への深い慈しみを感じている。

ウ 長く険しい旅路に出る自らの身よりも娘の身体を心配する父の優しさに、別れを一層辛く思っている。

エ 旅立ちの間際まで老いた父に心配されることで、夫の自分への愛情の薄さに気づき絶望している。

問七 傍線部⑤「われを頼まぬなめり」の現代語訳として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 私を頼りにしていないようだ。 イ 私を頼りにしてほしい。

ウ 私を頼りにしているようだ。 エ 私を頼りにするほうがよい。

問八 本文の内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 夫は父との別れに心を痛める作者を哀れに思つて、「待つていれば父とはいつか再会できる」という作者を元気づける歌を詠んだ。

イ 夫は悲嘆に暮れる作者を「世の中では普通のことだ」と突き放しつつも、「私達の契りは永遠だ」と作者に愛情を示す歌を詠んだ。

ウ 夫は涙に濡れる作者を「子どものようだ」と愛しく思い、父の歌に対し「幸せな私達を見てご安心ください」という歌を詠んだ。

エ 夫は悲しみに沈む作者を慰め、父の歌に対して「末永く幸せに過ごす二人の様子をきつとお見せしましょう」という歌を詠んだ。

令5 中学校・高等学校国語 (8枚のうち6)

(解答はすべて、解答题紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。)

四 次の漢文を読んで、あとの問いに答えなさい。(設問の都合上、一部訓点を省略したところがある。)

王祥字休徵、琅邪臨沂人。性至孝。繼母朱氏不慈、而祥愈恭謹。父母疾、衣不解帶。湯藥必親嘗。母嘗欲生魚。時天寒水凍。祥解衣、將剖冰求之。冰忽自解、雙鯉躍出。母又思黃雀炙。復有黃雀數十飛入其幕。鄉里驚嘆、以為孝感所致。有丹柰結實。母命守之。每風雨、輒抱樹而泣。篤孝純志如此。

漢末遭乱、扶母携弟、避地廬山、隱居三十年。不応郡之命。年垂耳順、乃応召。挙秀才、累遷太尉。

(蒙求)

(注) 琅邪臨沂——琅邪郡臨沂県。 丹柰——花梨またはりんごの木。 廬山——江西省九江市南部にある名山。

- 問一 傍線部②、⑥の漢字の読みを、送り仮名も含めて現代仮名遣いの平仮名で書きなさい。
- 問二 二重傍線部X、Yの本文中での接続の仕方として適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア X、Yともに順接である。 イ Xは順接、Yは逆接である。
- ウ Xは逆接、Yは順接である。 エ X、Yともに逆接である。
- 問三 傍線部「耳順」は『論語』に由来する語である。何歳のことを意味するか、解答欄に合うように書きなさい。
- 問四 傍線部①の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア 王祥は、服を着替える間も惜しんで、懸命に父母を看護した。
- イ 父母の病は重篤で、自分で服を着替えられないくらいであった。
- ウ 王祥は、自分の衣や帯を売って、父母の薬代にあてた。
- エ 父母は病気になっても、自分の衣服を王祥にさわらせなかった。
- 問五 傍線部③を書き下し文にしなさい。
- 問六 傍線部④の原因となった現象を、十字以内で本文中から二つ抜き出して書きなさい。
- 問七 傍線部⑤は「もつてこうかんのいたすところとなす。」と訓読する。この読みになるように、解答欄に訓点を施しなさい。
- 問八 本文の内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア 王祥は、自分に難題を課すことで立派に育てようとする母親の意図を理解し、素直に母親の命に従って功德を積んだ。
- イ 王祥が起こした奇跡の数々は人々によって語り伝えられて国王の知るところとなり、王祥は役人として重用された。
- ウ 王祥は、自分に対する母の思いやりのない言葉も素直に受け入れ、自らを犠牲にしても母に尽くす心を持ち続けた。
- エ 王祥が自身の努力により親が望む物を手に入れたことで、母親は戦乱の世でも平穏で裕福な生活を送ることができた。

令5 中学校・高等学校国語（8枚のうち7）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること。なお、字数指定のある場合は句読点等の記号を一字と数えることとする。）

五 次に示す【ワークシート】は「意見文を書こう」という単元の第二次の授業で使用したワークシートの一部分で、【目標】はその授業目標である。また【ワークシート】の（読み手の理解が得られる文章とは）は、第一次の授業で学習したことをまとめたものである。『中学校学習指導要領（平成29年告示） 解説 国語編』、『高等学校学習指導要領（平成30年告示） 解説 国語編』を踏まえて、あとの問いに答えなさい。

【ワークシート】

【目標】 読み手の理解が得られる意見文を書こう。

（読み手の理解が得られる文章とは）

・ 文章の中で、自分の意見の根拠となる事実を示すと、説得力のある文章となる。その時、意見と事実とを明確に書き分け、事実関係を整理して書くことが重要である。

【課題】 授業で学習したことを活用して、根拠を示して自分の意見をまとめよう。

テーマ 高齢者の交通事故の防止について

問一 この単元の「思考・判断・表現」の評価規準を示した次の文の空欄に入る適切なことばを書きなさい。

□において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。

問二 次の文章は、ワークシートの【課題】について生徒が書いた文章である。それぞれの生徒が授業目標を達成するための助言として適切なものを、後のア～オから一つずつ選んで、その符号を書きなさい。

生徒A 交通事故を減らすためには、高齢者の交通事故の防止について検討し、対策を推進していくべきである。具体的には、現在〇〇市で子ども向けに実施されている交通安全教室の対象を高齢者にまで広げることが有効だと考える。

生徒B 交通事故を減らすためには、減少傾向にある死亡者のうち、過半数を占めその割合が高まる傾向にある高齢者の交通事故の防止について検討し、対策を推進していくべきである。

生徒C 交通事故による高齢者の死者数が増加している。交通事故の死者数の過半数を高齢者が占めており、〇〇市ではその対策が急がれている。なぜなら〇〇市の人口の三割は高齢者が占めているからだ。

助言

ア 事実が具体的に書かれているけれども、意見が述べられていません。意見文では、伝えたい自分の意見を述べるのが大切です。意見を述べたうえで、意見の根拠となる事実を示すとよいでしょう。

イ 意見は明確に述べられていますが、それを裏付ける根拠が示されていません。意見の根拠となる事実を示すとその正当性が伝わり読み手の理解が得られる文章となるでしょう。

ウ 根拠となる事実を聞き取る際には、必要に応じて記録したり質問したりすることが大切です。相手の話をよく聞いて自分の考えを深めることで自分の意見に自信をもって書くことができるでしょう。

エ 意見とその根拠として書かれている事実に対する第三者の評価が記載されていません。自分の意見の正当性を伝えるためには、第三者の評価が重要であり、その内容を加えることで説得力のある意見文となるでしょう。

オ 意見とその根拠となる事実は述べられていますが、意見と事実が書き分けられておらず読みにくい文章になっています。接続詞等を適切に活用し、意見と事実を書き分ける工夫をするとよいでしょう。

令5 中学校・高等学校国語 模範解答

問一	①	開催	⑥	漫然	⑦	はたん	⑧	甚だし	⑫	飽和
問二	⑤	エ	⑩	ア	成熟					
問三	A	使う者の生		の	使用の目的が達成					
問四	その場限り	の		的	達成さ					
問五	ウ				れれば、使わなくなる					こと。
問六	イ									
問七	使い尽くさ									
問八	オ	く			築しなおす					
総計										200
一										55

問一	③	きんき	⑤	鈍い	⑥	憤り	⑧	あらがって	⑩	穏やか
問二	ウ									
問三	オ									
問四	ア									
問五	る目の治療を優先しようとする僕らには、カラ									
問六	イ									
問七	ウ									
問八										
二										50

問一	A	む	B	め
問二	X	旅	Y	度
問三	ア			
問四	いとあはれに忘るまじきさま			
問五	父は(部屋を)出ることができない。			
問六	イ			
問七	ア			
問八	エ			
三				

問一	②	かつて	⑥	かくのごとし
問二	ウ			
問三	六十歳			
問四	ア			
問五	将に氷を割きて之を求めんとす。			
問六	氷忽自解双鯉躍出			
問七	以 _テ 為 _ス 孝感 _ノ 所 _ト 致 _ス 。			
問八	ウ			
四				

問一	書くこと			
問二	生徒A	イ	生徒B	オ
			生徒C	ア
五				

五 15

四 35

三 45

二 50

一 55

総計 200